

平成30年1月22日



(注) NGO：非政府組織（Non-Governmental Organizations）

議事次第

日時：2017年12月13日（水曜日）14時00分～16時00分

場所：外務省南国際大会議室893号室

司会：垂井 俊治 外務省国際協力局 民間援助連携室 首席事務官

加藤 良太（特活）関西NGO協議会／ODA政策協議会コーディネーター

1 冒頭挨拶（5分）

【梨田 和也 外務省国際協力局長】

2 報告事項

(1) 2018年度外務省予算要求におけるODA関連予算・SDGs関連要求について（10分）

【大野容子（一社）SDGs市民社会ネットワーク進行役】

【今福孝男 国際協力局政策課長】

(2) 教育のためのグローバル・パートナーシップ提出誓約会合における日本政府の方針について（10分）

【城谷尚子 教育協力NGOネットワーク副代表】

【今福孝男 国際協力局政策課長】

(3) TICADモザンビーク会議に参加登録したNGO職員のビザ拒否問題について（20分）

【高橋良輔 ODA政策協議会コーディネーター】

【望月寿信 アフリカ部アフリカ第二課地域調整官，佐藤靖 国際協力局民間援助連携室長】

3 協議事項

(1) 日本によるナカラ経済回廊開発と社会的影響（35分）

【渡辺直子 日本国際ボランティアセンター南アフリカ事業担当兼地域開発グループマネージャー】

【金子万里子 アフリカ部アフリカ第二課長，大場雄一 国際協力局国別開発協力第三課長】

(2) 現在のカンボジア政治状況と，日本政府による対カンボジア外交政策・ODA政策（35分）

【熊岡路矢 カンボジア市民フォーラム共同代表世話人】

【齊田幸雄 南部アジア部南東アジア第一課長，岡野結城子 国際協力局国別開発協力第一課長】

4 閉会挨拶（5分）

【西井 和裕（特活）名古屋NGOセンター／ODA政策協議会コーディネーター】

▶ [議事録（PDF）](#)

▶ [名簿（PDF）](#)

<配付資料>

▶ [議題／質問状記入シート（PDF）](#)

平成29年度 NGO外務省定期協議会
「第二回ODA政策協議会」
議事録抜粋

○大場（外務省 国別開発協力第三課長）

私の発言は、これまでと一步も後退してはいないと思います。決して渡辺さんをびっくりさせたり、落胆させる意図は全くないのです。

人権の問題は非常に重要なので、ここはきちんと保護されて、かつ配慮されるように訴えていきたいと思います。

例えば、今回いただいた資料ですと、11月のナンプーラで開催された会合の発言は録音データで確認されているということなのですよね。ファクトベース、エビデンスベースでやることは大事だということをおっしゃっていて、仮に録音されたデータがあるのであれば、例えば会合の議事録なんかよりも客観的なわけですよね。ただ、我々はそのにいませんでしたけれども、もしそれが本当に渡辺さんからご覧になって問題があるのであれば、私が聞いてもわかりませんが、それをもし共有いただけるのであれば、それをモザンビーク政府に共有して、こういったことを指摘されているのですということ、人権の配慮について改めて求めるということをしていただくことは可能です。

○今福（外務省 政策課長）

前職が国別開発協力第三課長だったこともあって、一言だけ。

このプロセスはストップを考えるべきではないかという御意見をいただきましたけれども、まさに協議をしているがゆえに、現状を見ていただくと何も進んでいないというのがここ一、二年の話だと思うのです。それは我々なりに皆様の御意見を踏まえて、ちゃんと議論しなければいけない。モザンビーク政府が先走りそうだったら、ちょっと待ってくれということをやっているのがこの1年半のことだと思います。

あと、まさにプロサバンナの話につきましては、こうやって御議論はいろいろあるわけですから、この本体の協議会の他にサブグループも作って、これまで十何回と回数を重ねてきている。もちろんその中でお互いの考えていること、見解の相違等がある、なかなかまとまらないということはあるかと思いますが、我々としてもプロサバンナについては真剣に取り組もうと思ってそういう場も設けておりますので、引き続きそういった場も活用して協議させていただければと思います。

平成29年度(2017年度)NGO・外務省定期協議会
「第三回ODA政策協議会」
議事次第

- 日 時:2018年3月1日(木)13:00~15:00
- 場 所:京都市国際交流会館 特別会議室
- 司 会:西井 和裕 (特活)名古屋 NGO センター/ODA政策協議会コーディネーター
菅野 早苗 外務省国際協力局 民間援助連携室 課長補佐

1. 冒頭挨拶 (5分)

【加藤 良太 (特活)関西 NGO 協議会/ODA政策協議会コーディネーター】

2. 報告事項

SDGsアクションプラン2018について (20分)

【大野容子 (一社)SDGs 市民社会ネットワーク進行役/(公社)セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン】
【甲木浩太郎 国際協力局地球規模課題総括課長】

3. 協議事項

(1) ODAによる石炭火力発電への支援について (35分)

【田辺有輝 「環境・持続社会」研究センター プログラム・ディレクター】
【牛尾 滋 外務省国際協力局審議官】

(2) 日本の開発援助と「小農の権利に関する国連宣言」-ナカラ回廊経済開発(プロサバナ事業含む)を事例として (35分)

【渡辺直子 日本国際ボランティアセンター南アフリカ事業担当兼地域開発グループマネージャー】
【牛尾 滋 外務省国際協力局審議官】

4. その他

2019年 G20サミット日本開催について (20分)

【加藤良太 (特活)関西 NGO 協議会理事, 谷山博史 (特活)国際協力 NGO センター理事長,
大野容子 (一社)SDGs 市民社会ネットワーク進行役/(公社)セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン】

5. 閉会挨拶 (5分)

【牛尾 滋 外務省国際協力局審議官】

か？

○牛尾（外務省 国際協力局 審議官）

そのように要望されているということについては、お聞きしました。

●西井（名古屋NGOセンター 理事長）

はい。牛尾審議官、ありがとうございました。他に。

●渡辺（日本国際ボランティアセンター 南アフリカ事業担当兼地域開発グループマネージャー）

すいません。もう一点だけ、不明瞭なところがあったので確認させていただきたいのですけども。「録音があれば対応する」の内容の、人権侵害の方の、抑圧的な発言への対応について。これからまだ日程調整に時間かかっていてまだ渡せてないので、在京で渡すことを考えていると仰ってたんですが、渡すときにどういったことを日本政府としてお伝えする予定なのか、その中身、そこを質問しているの、教えていただきたいのですけども。

○牛尾（外務省 国際協力局 審議官）

彼らは人権侵害なんてやってないっていうわけですよ。現にこれ、人権侵害起きているじゃないかと、そういうことは日本のNGOからきていると。今後、これ進めようと思ったら、そののとこ配慮しない限り、我々できないよ、ということを含めてですね、向こうに伝えると。

●渡辺（日本国際ボランティアセンター 南アフリカ事業担当兼地域開発グループマネージャー）

ありがとうございます。では外務省の見解としては、この発言は人権侵害にあたるかと考えておられるということで大丈夫ですか。

○牛尾（外務省 国際協力局 審議官）

はい。この発言自体をそのまま聞けば、人権侵害にあたるとの主張があることは承知しております。

●西井（名古屋NGOセンター 理事長）

牛尾審議官、渡辺さん、ありがとうございました。他にこのお題に関して、質問とかコメントとかおありの方いらっしゃいますか。では、谷山さん、よろしくお願いします。

●谷山（国際協力NGOセンター 理事長）

今日この後SDGパブリックフォーラムでも議論するのですけども。SDGの目標の中に市民社会の権利というのがあって、それがやっぱり全体のSDGを実現するために重要だという建付けになっています。まさに単なる物理的な暴力だけではなく、この農業局長の発言のようなことが、本当の意味での人権侵害にあたるのだということの国際的な認識はほぼ確立しておりますけども。

それを今日は牛尾さんが外務省の立場として認めてくれたのは、とても大きな進歩だと思います。そのうえで明確にあえて政府に伝えるということと、もう一つは、ちょっと気になるのは、これもSDGの関係でもありますが、「ビジネスと人権」に関する議論の中で